

厚生労働省「こども霞が関見学デー」に協賛

「こども霞が関見学デー」は、文部科学省をはじめとした府省庁等が連携・主催し、業務説明や省内見学などを行うことにより、子ども達が夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、政府の施策に対する理解を深めてもらうことを目的に、夏休みに開催されています。

(一社)日本臨床検査振興協議会では、一般の方々に臨床検査の重要性と有用性を知っていただく活動の一環として、今年も下記をテーマに「こども霞が関見学デー」での展示を行いました。

『うんちやおしっこ・血液を検査するとなにがわかるかな?』

～白衣を着て臨床検査を体験しよう!!～

今年は7月29日・30日の2日間で、746人の子ども達に臨床検査を体験していただきました。

体験の様子

1. 厚労省 Web サイト フォトレポート掲載予定から引用※

※https://www.mhlw.go.jp/stf/photo_report/2026/ph0729-04.html



おしっこの検査の模擬体験



うんちの検査の模擬体験

2. 体験コーナーの様子



受付



血液細胞のコーナー



血管壁に沿って流れる血液
細胞を見るコーナー



おしっこの検査のコーナー



うんちの検査のコーナー



血液中の糖の検査コーナー



グッズコーナー



日本臨床検査振興協議会 広報委員 尾崎 敬 先生（右から2人目） 田部 陽子 先生（左から2人目）

他ご協力いただきました会員団体の皆様



日本臨床検査振興協議会 理事長

村上 正巳 先生（中央）

日本臨床衛生検査技師会 会長

長沢 光章 先生（右）

日本臨床検査振興協議会 広報委員会

望月 克彦 委員長（左）



日本臨床検査専門医会 理事長

山田 俊幸 先生（中央）

日本臨床検査振興協議会 広報委員

後藤 和人 先生（左）

日本臨床検査振興協議会 広報委員会

望月 克彦 委員長（右）